

## 中国人留学生との交流プログラム実施

開催日：2016年6月9日(木)

参加者：東京大学、名古屋大学、名古屋工業大学、三重大学に在籍中の  
中国人大学生 16名

経済広報センターでは、日中相互理解促進に向けた活動の一環として、2013年以降、国内の中国人留学生に対して、日本企業訪問の機会を提供している。本年は、6月9日に、中国留学人員友好聯誼会と協力し、東京大学、名古屋大学、名古屋工業大学、三重大学に在籍中の中国人大学生 16名がノリタケカンパニーリミテドを訪問、同社の経営理念や事業活動につき、説明を受けるとともに意見交換を実施した。

同社は、「至誠事に当り、もって素志を貫徹し、永遠に国利民福を図ることを期す」との創業者の森村市左衛門の哲学のもと、食器事業で長年培った技術を発展させ、エンジニアリング等の分野に応用している。加えて、名古屋駅に程近い会社発祥の地に開設した複合施設「ノリタケの森」は、都市緑化機構により、本年、社会・環境緑地「都市のオアシス 2016」に認定された。

このような説明を聞いた中国人留学生からは、「コア技術を大切に進化させ、『強み』を最大限活かし、事業の多角化に成功している」、「明確な経営哲学が、同社の発展の基盤にあることに感銘を受けた」等の声があがった。

以上

